

コミュニティなるお



○発行日
2025. 1. 1

○発行責任
鳴尾連合自治会

○編集
コミュニティなるお
編集委員会

TEL. 47-0101



新年のごあいさつ 申し上げます

鳴尾連合自治会 会長 川崎 洋光

新年あけましておめでとう
ございます。皆さまにおかれ
ましては、新春をすこやかに
迎えられましたことを心より
お喜び申し上げます。

今年はいの年です。脱皮を
する蛇のイメージから、巳年
は復活と再生を意味します。
覚悟と勇気を持って新しいこ
とが始まる1年としたいと思います。
です。長い間コロナ禍の影響
があり、何をすることも時間と
対策が必要で思うように活動
できなかったのですが、よう
やく一昨年末から元に戻りつ
つあり、各地域で人々の笑顔
が戻ってまいりました。

一方で災害に対する対策も
重要で、過去に鳴尾地域は大
きな被害を受けたことを踏ま
え、鳴尾連合自治会として関
係する行政機関に何度となく
要望し、協議説明を受けまし
た。具体的には鳴尾川の護岸
補強工事、鳴尾浜防潮堤のか
さ上げ工事を施工していただ
き、今年で完成することにな
り、災害に対する安全率が高
くなったと思っております。
また、継続している工事も

西宮100年を お祝いします



鳴尾八幡神社
宮司 吉井 良昭

新春を寿ぎ、鳴尾地域とお
住まいの皆さまのご健勝とご
繁栄をお祈り申し上げます。

今年はいの年でもなく西
宮市制100周年の年であり、
また阪神・淡路大震災から30
年、さらには終戦から数えて
80年を迎える大きな節目の年
です。先人の人々の歩みを振
り返り、明るく幸せな鳴尾の
街づくり、相互の交流が進み
ますことをお祈りします。

さて、昔から人々は新年の
訪れとともに誰よりも早く福
を授かり、新しい年がよい年
となるよう願ってきました。
鳴尾の地では元々福の神えび
すさまが祀られており、鳴尾
惣大夫さんをはじめ、太夫さ
ん方によって鳴尾から西宮へ
移られたという伝承はご存じ
のことと思います。このよう
な故事を今に伝えてきたのが、
上田西町に鎮座する元戎社で
す。この祠がこのたび鳴尾八
幡神社の境内に遷座されまし
た。由緒ある元戎社に参拝さ
れまして、この1年の大きな
福をお授かりください。

新年あけまして おめでとうございます

旧年中はコミュニティ誌
『宮っ子』の取材、編集活動
にご協力いただき、厚く御礼
申し上げます。

今年はいの年、西宮市制100周
年。『宮っ子』は創刊以来46
年目に入り、地域コミュニ
ティーを共に支え続けてきま
した。

今年も「地域と地域」「人と
人」の架け橋を目指し、編集
委員一同活動していきます。
どうぞ、よろしく願います。

コミュニティ「なるお」

編集委員一同

- 梅本信二(鳴尾北)
- 徳岡かおり(鳴尾北)
- 奥野尚美(小松)
- 青石 弘(南甲子園)
- 前田文信(鳴尾西)
- 藤本政人(鳴尾西)
- 山本信行(鳴尾東)
- 廣田久榮(高須)
- 柳生美登里(甲子園浜)





- ① 学文筋と旧国道との交差点
- ② 洋菓子店
- ③ 寿市場
- ④ 寿公園
- ⑤ 緑の瓦で縁取られた店舗群
- ⑥ 阪神高速3号線ループ橋

鳴尾新川を歩く

『宮っ子』鳴尾編集員がつづる

今回の第3部では、旧国道から国道43号までの、鳴尾地域北部とは違った趣の街並みを紹介します。

第3部

第3部のスタートは、暗渠工事の中の本郷学文筋を背に、旧国道の交差点からです。戸建て住宅が多かった街並みから、マンションやさまざまな店舗などが住宅と隣り合っている景色に変わります。

旧国道(甲子園筋)武庫川は甲子園けやき散歩です

旧国道を武庫川方向へ流れる鳴尾新川は、歩道下の暗渠となっていています。そのためでしょうか、歩道は驚くほどに幅が広く、心なしか道行く人が少なく見えます。

武庫川に向かって少し行くと、ドーナツを描いたのぼりが風にそよいでいます。そこは、どっしりとした柱が印象的な3階建ての洋菓子店の前です。やはり西宮は洋菓子店が多い。しばらく店のショーウィンドーをのぞいて、今日は何も買わずに、その場に甘い香りだけを残し、旧国道を渡ります。

コーヒープレーク

「甲子園けやき散歩道」は、第5回西宮都市景観賞でまちなみ発見クラブ賞を受賞しています。

寿市場の昔と今

そして飲食街

旧国道から南に折れると、そこからは里中町に入ります。路が随分と狭くなっていて、暗渠の上の歩道は一段高く、歩道をより狭く見せています。

道の西側には「寿市場」と書かれた立派な看板がありますが、残念なことに看板の下は真っ暗で、中はガランとして人の気配がありません。

入り口の配置図をよく見ると、店舗名の上に、紙に書かれた手書きの名前がたくさん貼られています。その紙も色あせていて、市場が続いているための必死な当時の思いのみが残っています。今は入り口に1、2軒だけが開いています。

その向かい側の一段高くなっている狭い歩道は、そぞろ歩くのに風情を添えています。



一段高い歩道

迎春

西宮(甲子園)地域の「なくてはならない洋菓子店」を目指して!



- 甲子園本店(学文殿町1-8-19) TEL.0798(47)4958
- 甲東園店(上田市1-6-32) TEL.0798(54)3439
- 甲子園口店(甲子園口北町2-27)TEL.0798(62)3450
- コロワ甲子園店(甲子園高潮町3-3-1階)TEL.0798(56)8477

<http://www.bern.co.jp>

ぼつぼつと並ぶ飲食店の中には、懐かしい木枠で作られたガラス戸の店先に、手書きのメニューが立てかけられていて、ついのでき込んでしまっています。

昼間はひっそりとしているこの通りも、きつと、夜になれば軒先に色とりどりの灯りが入り、行き交う人も少し浮かれた心持ちで歩いていることでしょう。次は、日暮れ時に来てみたいものです。

里中町2丁目辺りで、阪神電車の高架を遠く正面に眺めて西へ振り返ると、少し霞んでいる六甲山の山並みを背景に、鳴尾八幡神社境内の濃い緑が神々しく望めます。

寿公園と主のない台座

視線を戻し、商店街を左に折れ、里中町2丁目を少し行くと、「花の名所・寿公園」と書かれた立派な公園に出合います。園内には小川の流れるが作られ、そのそばには築山があつて、頂上にはジャンブルジムが立っています。子どもたちが額いっぱい汗をそままに、夢中で動き回れそうです。

奥まで歩くと、肝心の銅像



台座の上の青空

がない、立派な台座に出合います。そばにある解説を読むと、戦時中の金属供出で失われた「辰馬烈叟翁」の乗馬像が立っていたと記されています。台座だけが残っている様子は、妙にわびしい心残りを感じさせます。

しばらく見上げてみると、いっばいに広がっている青空と雲が、台座の今の主人公のように思われてきました。

コーヒープレック

辰馬烈叟翁は、鳴尾辰馬家（西宮辰馬とは別の14代当主・辰馬半右衛門。号が烈叟。鳴尾村の発展に尽くした鳴尾の名士です。

静かな雰囲気の路地

元来た道に戻り、しばらく南に進むと暗渠が終わり、左の路地に新川が現れます。立ち並ぶ住宅の玄関前には、家に入るための、新川をまたぐ小さな橋が行儀よく並んでいるのが目に入ってきます。

途中の路地をのぞくと、道はなお細く、少し「く」の字に曲がっていて、1軒の玄関脇には、水を打たれるのを待っているかのように、小さな植木が緑の葉影を作っていました。その路地はとても静かで、懐かしい雰囲気を持っています。



細い路地

遮る高架道路

元の道を進むにつれて、頭上の視界を遮るように阪神電車の高架が現れます。高架沿いに小曽根線を越えると、新川はすぐに左へ折れて、正面には兵庫医科大学の建物がそびえています。

そのまま川筋を少し進み南へ行くと、目の前には阪神高速3号神戸線と国道43号が東西に高架道路の対角線を作っていて、行き止まりになっています。この辺りは、街の広がりを感じられません。左右に分か



遮る高架

れた道を武庫川町方向へ行くと、兵庫医科大学の校舎を映す新川の水面が見えて、ホッとします。運が良ければシラスギが餌をついばんでいる光景にも出合えます。

川筋の北側にも細い道が続いています。道の中ほどからは、50mほどに渡って、緑の瓦で縁取られた建物があり、その中に8軒ほどのさまざまなお店が並んでいます。しかし、半分ほどの店はシャッターが降ろされてから長く経っているように見えます。かつて多くの客でにぎわった場所も変わっていき、唯一、新川の流れだけが変わらずにいます。

高架をくぐり、東鳴尾町から第4部に！

南に折れ、高架道路をくぐると、新川は空の下に広がっています。次回、第4部ではここ東鳴尾町をスタートして、新川沿いの最南部の鳴尾地域を紹介します。

謹んで新春のお慶びを申し上げます

鳴尾地区の皆さま、本年も郵便局をご愛顧いただきますようお願い申し上げます

- 西宮鳴尾郵便局 局長 吉澤さち子・甲子園郵便局 局長 木下哲一・西宮若草郵便局 局長 片山久恵
- 西宮小松郵便局 局長 中野 晃・西宮笠屋郵便局 局長 留田 学・西宮高須郵便局 局長 片山晶二
- 西宮高須南郵便局 局長 榎本貴子・西宮枝川郵便局 局長 福田基伸・西宮浜甲子園郵便局 局長 岩井保憲
- 西宮南甲子園郵便局 局長 狭場和子



鳴尾西

鳴尾八幡神社の子どもお神輿まつり

昨年10月27日、鳴尾小学校区の「統一秋まつり」に鳴尾町一丁目、四丁目、甲子園番町会、甲子園八幡町の4自治会が参加しました。

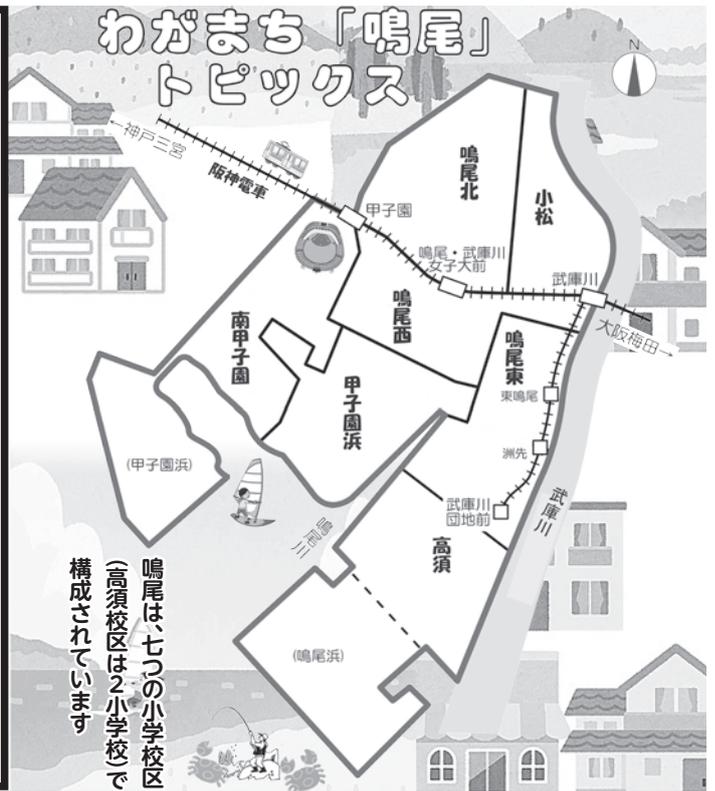


甲子園筋を巡行

神輿は各町会内を巡行した後、鳴尾小学校グラウンドに集結し、そろって鳴尾八幡神社に向かって奉納、おはら祓いを受け、お守り札を授かりました。



境内を本殿に向かう



鳴尾は、七つの小学校区(高須校区は2小学校区)構成されています

南甲子園

にぎわう***

甲子園100年まつり

すまのお 甲子園素盞鳴神社

昨年10月19、20日に、甲子園100年まつり実行委員会主催で開催されました。

初日は雨天、2日目は晴天で、両日合わせて老若男女たくさんの人々が参加。歌、ギター弾き語り、舞踊、和太鼓、宮司のお話、拍手コンテストなどのステージイベント、屋台の食事や縁日遊びを楽しんでいました。子どもたちの笑顔が令和7年以降も予定されている「甲子園まつり」でも見られるよう、地元住民や素盞鳴神社青年団、活動方針に賛同した飲食店が中心になってまつりを盛り上げていました。



縁日遊びを楽しむ子どもたち



拍手コンテスト表彰式

グリーンラグーナの祭り

甲子園浜

昨年10月6日、晴天の下、南甲子園のグリーンラグーナ甲子園でグリーンラグーナ甲子園団地自治会主催のラグーナ祭が開催され、500人以上の住人が参加しました。

射的、スーパーボールすくい、干本引き、輪投げなどの縁日遊びは、たくさん子どもたちの歓声が上がっていました。9台のキッチンカーが出店し、思い思いの好みの食べ物で、老若男女がおなかを満たしていました。最大の盛り上がりは抽選会です。250人以上の人が当選発表にワクワクして集まっていました。

コロナ禍を除き建設当時から開催されているラグーナ祭は、住人同士が顔合わせをする貴重な機会になっています。



おもしろゲーム大会に集まる子どもたち



ドキドキワクワクの抽選会

医療法人信和会 明和病院

〒663-8186 兵庫県西宮市上鳴尾町 4-31
TEL 0798-47-1767(代表)
0570-0-89470(患者さん専用)
ホームページ <https://www.meiwa-hospital.com>

親切で信頼される病院を目指します



めいわりハビリテーション病院 / 明和がんセンタークリニック / エレガノ西宮・めいわクリニック / 訪問看護センター明和 / 居宅介護支援事業所 併設

いいね! 鳴るほどザトピックス

LINE 明和病院 始めました 公式アカウント 友だち募集中!!



●診療科目 内科 循環器内科 消化器内科 血液内科 糖尿病・内分泌内科 腫瘍内科 腎臓内科 人工透析 内科 呼吸器内科 外科 消化器外科 小児外科 乳腺・内分泌外科 呼吸器外科 ペインクリニック外科 整形外科 リハビリテーション科 皮膚科 形成外科 泌尿器科 小児科 耳鼻いんこう科 眼科 産婦人科 放射線科 麻酔科 臨床検査科 病理診断科 救急科 歯科 歯科口腔外科

鳴尾北

上鳴尾町ってどう読む？

鳴尾北地区の南西に位置する上鳴尾町。この地区以外の人に読み方を尋ねると、ほとんどの人が首をかしげて、「かみなるお？うえ？じょう？」と答えます。「あげなるお」と呼んでくれる人が少ないことに驚きます。

上鳴尾町は旧の地名を宮本、焼屋敷、宮の前などです。また上鳴尾とは、江戸時代にハツ松、松村、北鳴尾集落の総称で、昭和32(1957)年の町名改称の時に「上鳴尾」という名称が残りました。

この町には鳴尾8カ寺に数えられる常福寺や室町時代に創建された鳴尾八幡神社もあります。また、上鳴尾墓地には鳴尾村初代領主・佐々成政の十三層供養塔もあり、歴史を感じさせる建造物がいくつもあります。



上鳴尾墓地にある佐々成政の十三層供養塔



旧の地名「焼屋敷」がついた踏切のあった場所今は石碑があるのみです

あきSUNフェスティバルに

人・人・人・・・

高須

昨年10月20日、赤胴車マルシェ、こどもフェスタ、フリーマーケットがそれぞれの広場で開催されました。

「ふれあい動物園」「車掌さん体験」「こども縁日」「キッチンカーうまいもん市」などがあり、兵庫県マスコット「はばタン」が会場を大いに盛り上げていました。

フリーマーケットの広場では、商品が風で飛ばされるハプニングもありましたが、掘り出し物を探す人、両手に商品を抱えた人など、どの広場も大勢の人たちでにぎわいました。



こどもフェスタ



フリーマーケット



赤胴車マルシェ

鳴尾東

祭り・準備の一コマ

東鳴尾1丁目自治会の秋祭りが、昨年11月3日に東鳴尾1丁目公園で開催されました。久しぶりの開催のため、自治会の人たちも当日の準備は慣れないことばかりです。テントの設営は高齢者には重労働です。ポールを持ち上げる時はあちらこちらからうめき声のようなものが聞こえてきます。

一方、焼きそば担当の女性軍はさすがに手慣れた様子で、サクサクと切った野菜を横の籠に山積みしていきます。綿あめ機の設置はスムーズでしたが、ポン菓子機は操作が複雑で、自治会に経験者がいないため、隣の自治会の人に応援要請して、なんとか最後には大きなポンツという音とともに籠いっぱいポン菓子を作ることができました。祭りが始まり、子どもたちのきらきらした目に、準備の苦労も一瞬に忘れ去りました。



出番を待つポン菓子機



くくられたブランコ

子どもたちの笑顔あふれるハロウィン

小松

昨年10月26日、小松北町子ども部による「北町親子でハロウィンウォークラリー」が開催されました。小松北町の中を仮装した子どもたちが歩き、ポイントでお菓子をもらいます。町を回っていると子どもたちの楽しそうな様子に、老人ホームでは入所者の人々、保育園では子どもたちなど多くの方が手を振っていました。通りがかりの夫妻から「来年は参加してお菓子を配らせてほしい」といううれしい申し出もありました。また、仮装コンテスト審査員を務めた登下校の見守り隊の皆さんへ、子どもたちから感謝の手紙の贈呈もありました。

子どもたちの笑顔で、小松北町がほっこりとした幸せあふれる時間となりました。



ポイントでお菓子をもらいます



見守り隊の皆さんに感謝状

厄除・初宮詣・地鎮祭

鳴尾の氏神 鳴尾八幡神社

〒663-8186 西宮市上鳴尾町14-21 TEL 0798-41-0786

西宮市制 100 周年記念特集

4月1日、西宮市は市制100周年を迎えます。武庫郡鳴尾村が誕生した明治22年、時を同じくして西宮町が誕生しました。大正14(1925)年に西宮市制が敷かれたころ、武庫郡鳴尾村に甲子園大運動場(現・阪神甲子園球場)が誕生。甲子園浜には海水浴場の開設、甲子園娯楽場(後の浜甲子園阪神パーク)が誕生しました。市制100年、共に歩んできた鳴尾を年表でたどります。

鳴尾村が西宮市と合併して74年
年表でたどる鳴尾の歩み①
 明治22(1889)年～昭和26(1951)年
 (近代鳴尾村～西宮市合併まで)

武庫郡鳴尾村の誕生、そして解村

私たちの住んでいる西宮市の東南端に位置する鳴尾の始まりは、武庫川の海に近い氾濫原です。

平安時代に始まる墾田の開拓、新田の開拓、大雨や洪水、高潮との闘いでした。その闘いととも、今の鳴尾が形づくられてきた歴史があります。

武庫郡鳴尾村は、明治22年4月1日町村制施行により、鳴尾村、小松村、小曾根村、上田新田村が合併し、新しい行政単位として誕生した村でした。

財政豊かな鳴尾村でしたが、太平洋戦争後、復興の財源に充てていた娯楽施設の入場税が、昭和25年の税制改革で直接鳴尾村の収入にならなくなり、さらにその年の9月に襲来したジェーン台風による甚大な被害で財政危機となり、単独村制に行き詰まりました。

その後、西宮市か尼崎市かへの合併を迫られ、住民投票の結果、昭和26年4月1日に西宮市との合併が選択され、明治22年の町村制施行以来62年の歴史に幕を閉じました。

西宮市合併当時(昭和25年国勢調査)は7,723世帯、人口33,812人あまりでした。現在(令和6年10月1日現在)では44,617世帯、人口94,261人になりました。



鳴尾村が西宮市に合併された頃の形跡図



昭和10年代末の鳴尾村の原風景(現在の東鳴尾付近)
 (「鳴尾・西宮合併50周年記念誌」より)

西宮市への合併経過

- 大正14(1925)年 市制施行により西宮町が西宮市となる
- 昭和8(1933)年 武庫郡今津町、芝村、大社村を合併
- 昭和16年 武庫郡甲東村を合併
- 昭和17年 武庫郡瓦木村を合併
- 昭和26年 武庫郡鳴尾村、有馬郡塩瀬村、山口町を合併
- 昭和44年 西宮市平左衛門町と尼崎市西昆陽字田近野を交換



キッズニア甲子園 LINE友だち限定

クーポン 2025年
 入手期限 2月28日まで



トーク画面に合言葉

宮っ子を入力して

お得なクーポンをもらおう!

合言葉の入力は
 こちらから!



キッズニア甲子園
 公式LINEアカウント

年	代	主なできごと
1889	明治22	町村制施行(小松・上田新田・小曾根村が鳴尾村と合併)
1902	35	鳴尾イチゴの栽培が始まる
1905	38	阪神電車開通(大阪出入橋〜三宮)。鳴尾停留場設置
1907	40	鳴尾川右岸に鳴尾競馬場①、翌年左岸に鳴尾速歩競馬場
1914	大正3	第1回民間飛行大会を鳴尾競馬場で行う
1919	大正8	鳴尾イチゴ狩りが始まる②
1920	9〜13	武庫川改修工事(枝川と申川の廃川)
1924	13	甲子園大運動場開場(現・阪神甲子園球場)③
1925	14	西宮市制施行
1926	15	甲子園浜海水浴場開設
1927	昭和2	阪神甲子園線営業開始(甲子園〜浜甲子園)④
1930	4	阪神大博覧会開催(甲子園地区で開催)⑤
1931	6	甲子園娯楽場開設(浜甲子園阪神パークの前身)
1939	14	川西航空機製造(株)鳴尾製作所の操業開始
1943	18	鳴尾会館(昭和12年鳴尾村役場庁舎となる)完成⑥
1945	20	武庫川学院創設
1947	22	上甲子園〜上田間 産業道路(現・小曾根線)開通
1950	25	村立鳴尾中学校(現・鳴尾高校)開校
1951	26	浜甲子園阪神パーク閉鎖(日本海軍に供出)
		阪神電鉄武庫川線営業開始(武庫川〜洲先)⑦
		阪神大空襲(鳴尾への空襲3/19〜8/6 計8回)
		太平洋戦争終戦
		鳴尾村立公民館が鳴尾小学校教室に開館
		新生「甲子園阪神パーク」(現在地ららぽーと甲子園)に開場⑧
		9/3ジェーン台風襲来
		鳴尾村、西宮市と合併

⑦ 阪神武庫川線
(現在の武庫川駅)



⑤ 阪神大博覧会
(現在のららぽーと甲子園付近)

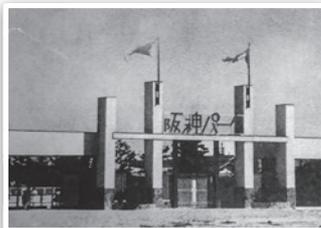


③ 甲子園大運動場
(右上は廃川となった枝川)



① 鳴尾競馬場

⑧ 甲子園阪神パーク
正面入場出入口



⑥ 鳴尾村役場
(旧鳴尾会館)



④ 阪神甲子園線の甲子園停留所
(右後方は甲子園大運動場)



② 鳴尾イチゴ狩り

参考文献・写真:「鳴尾村誌」

甲子園で野球ができる!?

バーチャルバッティングセンター

CGで完全再現した阪神甲子園球場で
ピッチングやバッティングを楽しもう!!

※球場写真はイメージです。



BE-STADIUM KOSHIEEN
supported by STANDIN

阪神甲子園球場南隣 甲子園プラス2F

[営業時間] 10:00~18:00
※3月~10月は10:00~19:00 ※催し物により変動します。

[休業日] 月曜日(試合開催日、祝日を除く)、年末年始
※上記の他、メンテナンス等のため休業となる場合があります。

TEL.0798-42-6970

詳しい営業情報は公式HPよりご確認ください。

ピーススタジアム甲子園



鳴尾地区5公民館の講座案内

【★は申し込みが必要。いずれも先着順。特に表記がなければ来館受け付け。材料費は受け付け時徴収】

	月	日	曜日	時 間	内 容	講 師	問い合わせ先
	1	22	水	13:30~15:00	「鳴尾寄席」～落語でお楽しみください～ 定員:100人 当日受け付け	落語家 笑福亭喬介	鳴尾公民館 TEL47-3838
	2	8	土	13:30~14:30	「西宮市制施行100周年(2025)記念イベント」～サクソフォンカルテット ファミリーコンサート～ 定員:100人 当日受け付け	ミ・ベモル サクソフォンカルテット	
	2	9	日	13:30~14:30	「和太鼓演奏」～和太鼓演奏と太鼓の体験を楽しもう～ 定員:100人 当日受け付け	和太鼓「かざぐるま」	
★	3	6	木	13:30~15:00	「自力整体」～ゆったりゆっくり誰でもできる～ 定員:25人 申し込み:2/20(木)10時より電話にて受け付け ※1人で2名まで申込可 持ち物:ヨガマットまたはバスタオル	自力整体ナビゲーター 武田 恵子	鳴尾東公民館 TEL49-1300
	1	18	土	13:30~15:00	新春コンサート ジャズを聞いて楽しく1年を過ごそう 定員:70人 当日受け付け(開始20分前より)	ジャミングスィング楽団 伊佐 常照	
	2	4	火	14:00~15:30	健康講座 もしかして認知症かも? 定員:60人 当日受け付け(開始20分前より)	西宮協立脳神経外科病院 看護係長:認知症看護認定看護師 松永 清美	
	2	17	月	10:00~11:30	あーよかったな あなたがいて ～優しさという温かい貯金～ 定員:50人 当日受け付け	教育サポーター 仲島 正教	南甲子園公民館 TEL49-4741
	3	6	木	14:00~15:30	NHK大河ドラマ「あらばう 篤重栄華乃夢斬」～篤屋重三郎の出版人生～ 定員:50人 当日受け付け	西宮東高等学校 元教頭 霜澤 喜代子	
★	1	25	土	10:00~13:00	くらし消費者講座 「男の料理教室」みんなで楽しくクッキング!! 申し込み:1/11(土)9:30~11:00 来館にて受け付け 定員:12人 対象:男性(中学生以上) 材料費:900円(申込時) 持ち物:エプロン・三角巾・マスク・タオル	栄養士 工藤 恵子 メニュー(5品) ・ヘルシー酢鶏 ・マカロニツナサラダ ・えびワタンスープ ・ご飯 ・コーヒーゼリー	学文公民館 TEL41-6050
★	2	10	月	11:00~13:30	健康・福祉講座 「世界に学ぶ百歳元気に生きる賢い食べ方」 テーマに沿ったお弁当をいただきます 申し込み:1/27日(月)9:30~11:00 来館にて受け付け 定員:25人 材料費:500円(申込時) 持ち物:昼食用の飲み物・お手拭き	武庫川女子大学 健康科学総合研究所 国際健康開発部門 食育グループ Healthly+ 同大名誉教授 家森 幸男	
	2	20	木	13:30~15:00	健康・福祉講座 「これからの認知症」～元気うちにできることはあるの?～ 定員:40人 当日受け付け	認知症初期集中支援チーム小松(相談窓口・レジサポ) 介護福祉士 竹下 真希 高齢者あんしん窓口小松(小松地域包括支援センター) 看護師 後藤 奈美	
	1	23	木	14:00~15:30	大河ドラマ講座「篤屋 重三郎 出版に賭けた人生」 第1回 最新江戸文化の発信地 定員:50人 当日受け付け	西宮東高等学校 元教頭 霜澤 喜代子	高須公民館 TEL49-1312
	1	30	木	14:00~15:30	大河ドラマ講座「篤屋 重三郎 出版に賭けた人生」 第2回 寛政の改革による弾圧と再起 定員:50人 当日受け付け	西宮東高等学校 元教頭 霜澤 喜代子	
	2	12	水	14:00~15:30	世界を笑顔に ～パレタインコンサート～ 定員:50人 当日受け付け	声楽家 山崎 小夜子	
	3	2	日	14:00~15:30	歌のひろば「みんなと楽しく歌いましょう」 定員:80人 当日受け付け	うたごえサークル あおいそら	

【地域医療講座】 講師：明和病院医師（明和病院の協力を得て開催している講座です）

	2	14	金	14:00~15:30	地域医療講座「嚥下（えんげ）の話」 定員:60人 当日受け付け	明和病院 耳鼻咽喉科 部長 奥中 美恵子	鳴尾公民館 TEL47-3838
	1	22	水	14:00~15:30	介護の話 定員:50人 当日受け付け	明和病院 中島 淳美・有賀 保博	南甲子園公民館 TEL49-4741

なるお会館からのお知らせ

なるお会館文化祭のお知らせ
 舞台発表 3階集會室
 3月9日(日)10時~15時ごろ
 作品展示 1階ロビー
 前半:2月21日(金)~3月6日(木)
 後半:3月7日(金)~18日(火)
 月曜日を除く9時~16時

教室名	開設曜日	時 間	定員
太極拳A	月2回	9:45~10:45	20人
太極拳B	第2・4火曜	10:50~11:50	30人
絵画(水彩)	月1回第1水曜	13時~16時	15人
みんなの歌	月1回第2水曜	10時~12時	20人
書 道	月1回第1木曜	13時~15時	50人
子ども英語	月2回第2・4木曜	17時~18時	10人
初心者囲碁	月2回第2・4木曜	10時~12時	15人
俳 句	月1回第2金曜	13時~15時	15人

太極拳A=未経験者(初年度と2年目)、B=(3年目から)
子ども英語のみ小学生新1・2年生限定。他は年齢制限なし

なるお会館趣味教室生徒募集
 期間:4月~翌年3月
 場所:なるお会館
 資格:鳴尾地域在住の
 年会費:2000円
 申込:2月28日(金)必着
 往復はがきに教室名、住所、
 氏名、年齢、電話番号を記入の
 上、なるお会館まで。

「幸せを呼ぶ手相占い」
 日時:2月16日(日)
 14時開演(13時半開場)
 講師:玉木仁邦
 会場での個別の手相占いなし。
 申込方法
 往復はがきに住所、氏名、電
 話番号、人数(2人まで)を記入
 してなるお会館まで。
 受付:1月30日(木)必着
 定員:80人
 生涯学習鳴尾大学学生募集
 期間:4月~翌年2月
 定員:80人
 受講料:無料
 入学資格:鳴尾地域在住で満
 60歳以上。ただし、令和5、6年
 度受講生は除く。
 受付:2月28日(金)必着
 往復はがきに住所、氏名、電
 話番号を記入の上、なるお会館
 まで(往復はがきのみ受け付け)。
 講座内容:詳細は、なるお会
 館まで。
 問い合わせ先
 いずれもTEL663-8184
 鳴尾町3丁目8-7
 なるお会館まで。
 ☎46-8200
 祝日を除く火~金曜日9~16時
 公益財団法人 鳴尾会

「幸せを呼ぶ手相占い」
 日時:2月16日(日)
 14時開演(13時半開場)
 講師:玉木仁邦
 会場での個別の手相占いなし。
 申込方法
 往復はがきに住所、氏名、電
 話番号、人数(2人まで)を記入
 してなるお会館まで。
 受付:1月30日(木)必着
 定員:80人
 生涯学習鳴尾大学学生募集
 期間:4月~翌年2月
 定員:80人
 受講料:無料
 入学資格:鳴尾地域在住で満
 60歳以上。ただし、令和5、6年
 度受講生は除く。
 受付:2月28日(金)必着
 往復はがきに住所、氏名、電
 話番号を記入の上、なるお会館
 まで(往復はがきのみ受け付け)。
 講座内容:詳細は、なるお会
 館まで。
 問い合わせ先
 いずれもTEL663-8184
 鳴尾町3丁目8-7
 なるお会館まで。
 ☎46-8200
 祝日を除く火~金曜日9~16時
 公益財団法人 鳴尾会